

第3章 水土里の「保全整備」と「協働」の基本方針

「力強い農業」と「活力ある地域」を持続するためには、豊かで、特色ある『水』、『土』、『里』の「地域資源を保全」しつつ、さらなる有効活用を図るための「地域資源の整備」を進め、将来へ引き継ぐことが必要です。

そのためには、

①生産・生活基盤（資源）の機能が十分に発揮されること。【保全 ⇒ 引き継ぐ】

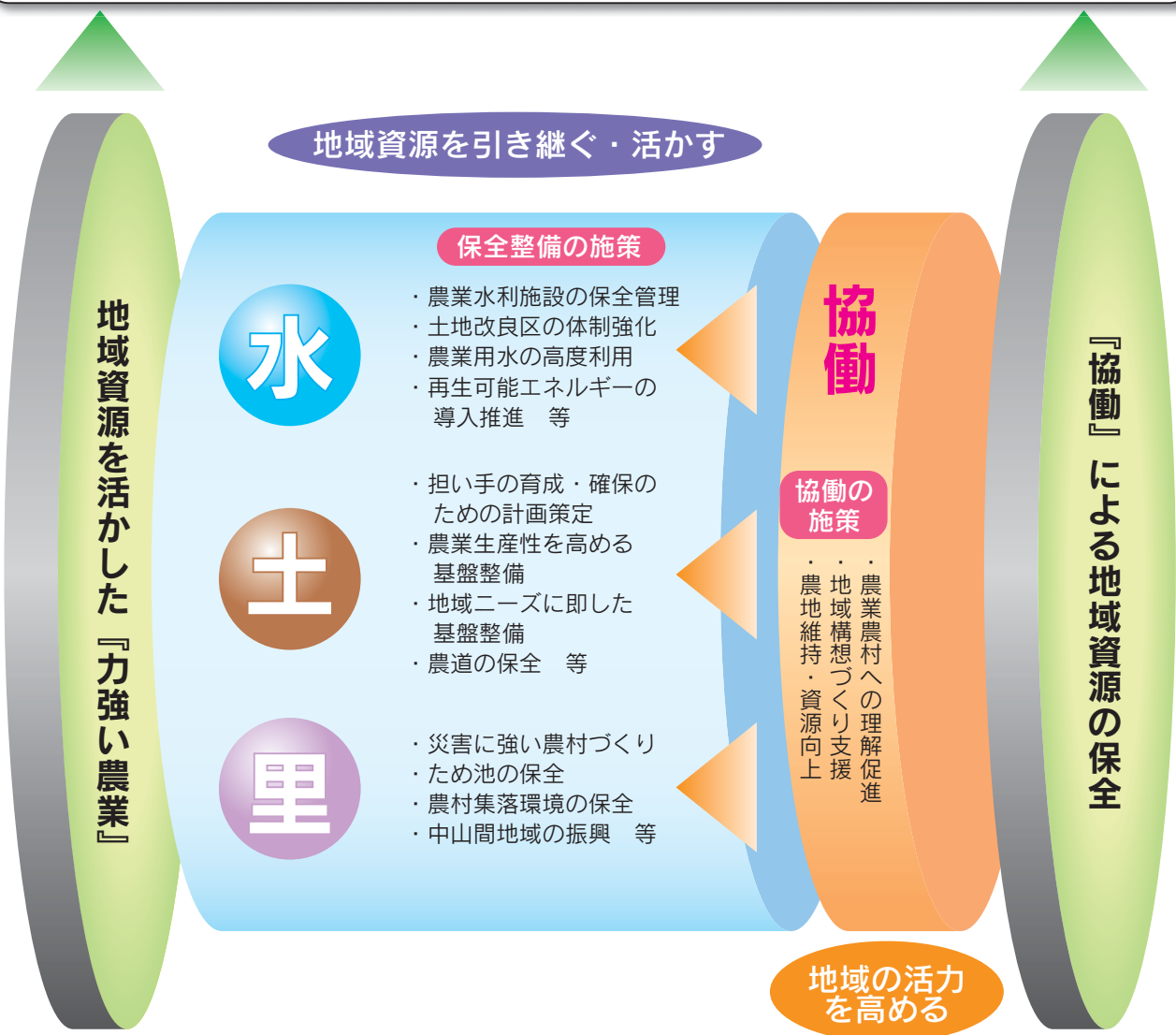
②生産・生活基盤（資源）の機能を高めること。【整備 ⇒ 活かす】

③地域資源の保全管理を行う体制が充実していること。【協働 ⇒ 地域の活力を高める】が重要です。

このため、これらの保全・整備、協働の各種施策を組み合わせることで、

『地域資源を活かす保全整備と活力ある地域づくり』を目指します。

基本目標：『地域資源を活かす保全整備と活力ある地域づくり』



農業農村における『^{みどり}水土里の地域資源』

農業農村では、農業用水「水」や農地「土」、暮らしの場、自然・景観「里」などの様々な地域資源の組み合わせにより、多彩な農産物を生産し、人々が生活しています。
以下に、県が考える「水土里」の代表的な地域資源を示します。

★『水』の地域資源★



農地・地域を潤す「農業用水」



農業用水を運ぶ「水利施設」

★『土』の地域資源★



多彩な食を生産する「農地」



食・農・地域を結ぶ「農道」

★『里』の地域資源★



水資源を有効活用する「ため池」



憩い・教育の場としての「自然・景観」